

作成日		発行
2016. 05. 02 No.250		榊秋山製作所 企画・デザイン室

◉ Boom(ブーム) ◉

今や、業界人の誰もが知っている事ですが、中国ではここ数年、真珠の需要が高まっています。その引き金は、彭麗媛（ホウレイエン）胡錦濤国家主席夫人の日本ひいきと言われています。真偽の程は定かではありませんが、化粧品は日本の一流メーカーの最高級品を使い、バッグなど身の回りの品も日本製とのうわさがあるほどです。最高級品の真珠を身に着け習主席の外遊に殆ど同行し、その場面は必ず中国のテレビニュースで流されているそうです。夫人の洋服やアクセサリは、いやがうえにも中国女性の注目の的となり、そのおかげで真珠の人气が高まっています。年に数回開催されている「香港ジュエリーショー」には、日本からジュエリー業者が多数出展していますが、一昨年発令された儉約令が浸透したことが逆風となり、回を重ねるごとに販売が厳しくなっているそうです。しかし、中国国内の真珠ブームは衰えず、優劣はあるものの真珠業者の好調は続いていると聞きます。今年3月上旬に行われたショーで、3日間で約1億円販売した業者もあったとのこと。貿易統計によると、2015年の香港への真珠輸出は過去最高の251億円（前年比40%増）で、売買された約7割は中国本土向けとのこと。

アコヤ真珠生産量の減少傾向が続くなか、海外向けの需要増大により需要と供給のバランスが崩れていることで、今年も価格高騰や品不足が続くことが予想されます。日本の国内向け販売においては非常に厳しいですが、当社では、下記の新製品のようなトレンドを加味したモノづくりに邁進していきたいと思います。(M.U)

★今月の新製品★（当社女性スタッフ企画）近年ブームのハリウッドラインフック式K18パールピアスに、デザインを加えました



ついで防災

先日の熊本県のように、日本ではここ数年大きな災害に見舞われる地域が多く発生しています。地震大国といわれる国に暮らす以上、いつ大きな災害に見舞われても、被害を最小にするため備えることは当たり前、そんな認識を持ちたいものです。楽しいことなら積極的に行動できるものの、防災は、「そのうち」という気持ちが出てしまいがちです。あの時やっておけばよかったと後悔する前に、ぜひ実践して欲しいことが“何かのついでに防災もやっておこう”という発想の「ついで防災」です。

年末の大掃除に窓を掃除するついでに、飛散防止フィルムを張る。家具を移動して掃除をするついでに、安全な場所に配置換えをする。家具上部のホコリを払うついでに、固定器具を取り付けてしまう。役所に行く用事があれば、ハザードマップを入手する。スーパーの特売日に、飲料水や食料などの備蓄品を購入するなど、ついでにできることはたくさんあります。

出来ることは気軽にやっておいて、身の安全を守って行きたいです。(M.S)

鯉のぼり

すっかりお馴染みの鯉のぼりですか、いつから揚げられるようになったかご存知でしょうか？

日本では、将軍に男の子が生まれると、旗指物という家紋の付いた旗や幟（のぼり）を立てて祝う風習がありました。やがてこれが武家に広がり、男の子が生まれた印として幟を立てるようになったそうです。そんな武家を見習い、江戸庶民の間で鯉の滝登りで立身出世のシンボルとなった鯉を幟にするアイテムが生まれました。こうして武家の幟に対して、町人の間で鯉幟（こいのぼり）が揚げられるようになり、端午の節句に欠かせないものとなっていきました。

江戸時代は、和紙に鯉の絵を描いたものでしたが、大正時代には破れない綿の鯉のぼりとなり、昭和30年代に入ってから、合成繊維の鯉のぼりも誕生し、広く親しまれるようになりました。近年ではベランダでも揚げられるタイプもあり、インテリア用の鯉のぼりも人気が出ているそうです。

昔からの風習をこれからも大切にしていきたいですね。(M.S)